



 株式会社 **ダイイチ**

いい街 いい人 いい笑顔
フレッシュ&ハート ダイイチ



証券コード 7643

第71期 年次報告書

2024年10月1日～2025年9月30日



代表取締役社長
若園 清

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は今年で創業67周年を迎えることができました。

これもひとえに株主様をはじめとする、多くの皆様のご愛顧とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

これからも、食のライフラインとしての社会的使命を心に刻み、社是である「お客様の普段の食生活のお役に立つ」を念頭に、地域に根差したスーパーマーケットであり続けるために、役職員一丸となって取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともご指導ご支援賜りますようお願い申し上げます。

ここに当社第71期（2024年10月1日から2025年9月30日まで）の営業概況をご報告申し上げます。

■当期の決算概要について

当事業年度における国内および北海道経済に関しましては、雇用・所得環境の改善に伴い、景気は緩やかな回復傾向が続きました。個人消費に関しましても、物価高の影響により一部足踏みが見られたものの、緩やかな改善が続きました。

スーパーマーケット業界におきましては、食料品価格が、原材料費の上昇に加え、異常気象による作育不良等により高騰が続いたため、お客様の生活防衛意識が一層高まり、「節約志向」、「買い控え傾向」がより顕著になりました。加えて、人件費や各種経費の増加、新たな競合の道内進出や既存競合先の低価格ビジネスモデルへの転換など、競争も更に激化し、当社を取り巻く経営環境は厳しさを増しました。

このような状況の下、当社は、社是である「お客様の普段の食生活のお役に立つ」の精神に立ち返り、「普段の食生活を通じて、地域を笑顔に」を基本方針とする中期経営計画に基づき、2年目である当事業年度に関しては、「コンプライアンスの徹底」、「出店戦略推進」、「競合店対策」、「既存店の活性化」、「商品力・商品化技術強化」、「ガバナンス体制強化（業務改善、組織の活性化、人財確保と教育の実践）」、「社会貢献」を重点実施事項とし、取り組みました。

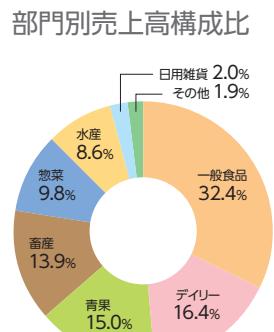
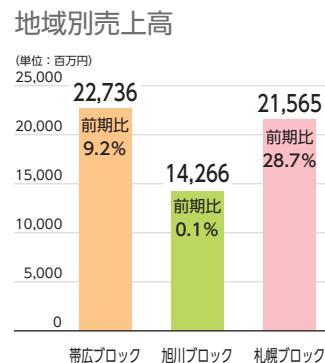
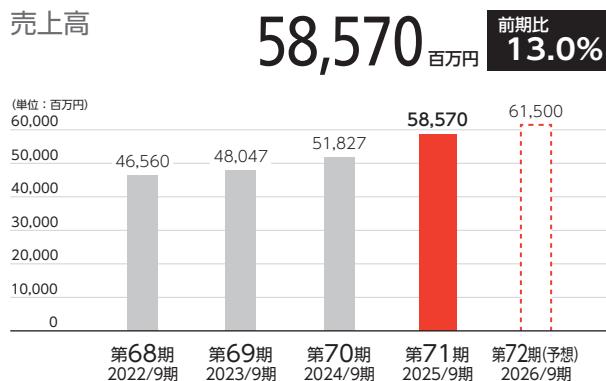
出店戦略

当事業年度における主な取り組みの成果といしましては、「出店戦略推進」への取り組みとして、2024年11月8日にはラピダス進出に伴い大きな発展が期待されている千歳市に「千歳店」をオープン、2025年3月21日には株式会社イトーヨーカ堂のアリオ札幌店の食品販売部門を継承した店舗をオープンするなど、現中期経営計画中の出店は計4カ店となり、中期経営計画で掲げた3カ店の目標を2年目で上回ることができました。この2カ店の出店により、当社の店舗数は2025年9月末時点での26カ店となりました。なお、アリオ札幌店につきましては、月間の売上高で全店1位を争う基幹店の1つとなっているほか、2024年9月にオープンした稻田店に関しましても、入居している商業施設が2025年7月に全館での営業を開始した相乗効果で売上高が大きく伸長しました。

商品戦略

「競合店対策、既存店の活性化、商品力・商品化技術強化」への取り組みとして、お客様の立場に立った商品作りと品揃えの徹底を基本方針に、お客様の「節約志向」や「簡単・便利ニーズ」にお応えするため、「即食商品」の拡充、「適正量目」、「適正価格」の一層の追求、高品質でお買い得価格の「セブンプレミアム商品」の拡販（売上高で前期比120%）に努めたほか、米価高騰を踏まえた取り組みとして、随意契約による政府備蓄米の取扱いを決定し、販売期限を待たずに完売することができました。

決算ハイライト

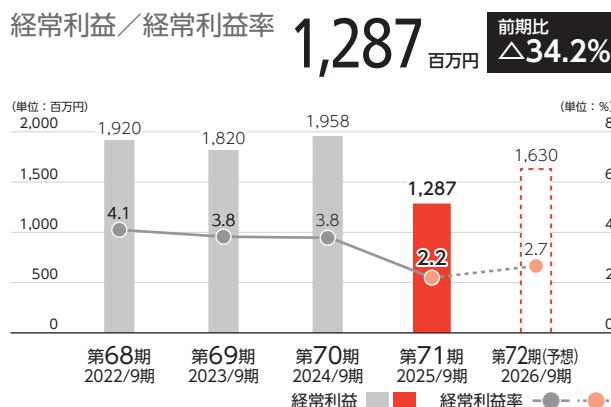


社会貢献・地域貢献

「社会貢献」への取り組みとしては、地域の小学校等の職場体験学習を積極的に受け入れたほか、帯広農業高校の生徒が育成した花卉の販売イベントや、地域と連携したイベントの開催等に協力しました。環境対策としましては、店舗廃棄物のリサイクル（肥料化）への取り組みを開始し、「J-クレジット預金」（株式会社商工組合中央金庫の商品）を通じて森林保全への取り組みに貢献したほか、北海道電力株式会社等と太陽光発電によるオフサイトPPA契約を締結し、再生可能エネルギー事業に参画いたしました。2025年10月には、「フードドライブ」活動も開始しております。

本業である食を通じた取り組みとしましては、日頃のお買い物にご不便されている方々に商品をお届けする「移動スーパー（とくし丸）」事業は、2025年9月22日に記念すべき20台目が千歳市において稼働を開始しました。今後も地域のニーズに積極的に対応すべく、増車を検討してまいります。また、自然災害等が国内各地で頻発している状況を踏まえ、災害等が発生した場合に、自治体と協力し、迅速・確実に食料品等の生活物資をご提供できる体制を構築することで、地域の皆様の安全で安心な暮らしに貢献すべく、各自治体と「災害時等における物資供給に関する協定」締結を進めておりますが、当事業年度におきましては、千歳市、音更町、幕別町と新たに協定を締結いたしました。

決算ハイライト



配当方針について

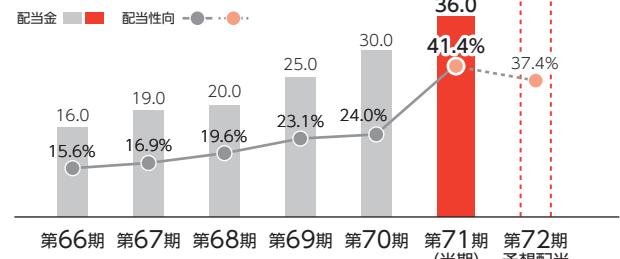
当社は株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、安定的な配当の継続を基本方針としつつ、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」として、収益状況や事業展開の見通しなどを総合的に判断しながら、株主への還元強化に取り組んでおります。

これら方針等に基づき、当期の期末配当につきましては、2025年12月23日開催予定の定時株主総会において、1株当たり普通配当18円とする予定であります。

この結果、中間配当金（当社普通株式1株につき18円）を加えました当期の年間配当金は当社普通株式1株につき36円となり、前期よりも6円増配となります。

なお、内部留保資金につきましては、新規出店計画や既存店舗の改装等の設備投資、人財育成の教育投資、システム投資等の有効投資を実施し、なお一層の収益力の強化を図り、企業価値の向上に努めてまいります。

配当金の推移



今後の見通し

今後の国内経済の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善や各種政策効果により、緩やかな回復基調が続くと期待される一方で、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクや、物価上昇の継続による消費者マインドの低下、金融資本市場の変動等の影響などにより、先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

スーパー・マーケット業界におきましては、物価の高止まりにより、お客様の「節約志向」、「買い控え傾向」がより強まることが見込まれる中、企業間の競争が業種・業態を越えて更に激化することに加え、人件費や水道光熱費などの各種経費の更なる増加が見込まれるなど、厳しい経営環境が今後も継続していくことが予想されています。

このような状況の下、当社は、社是である「お客様の普段の食生活のお役に立つ」の精神に立ち返り、『普段の食生活を通じて、地域を笑顔に』を基本方針とする中期経営計画に基づき、最終年度である2026年9月期に関しては、①直近出店店舗の体质強化、②競合店対策・既存店活性化、商品力・商品化技術強化、③新規出店計画推進、④ガバナンス体制強化（人財確保・育成強化、ジェンダーレス推進、店舗収益性の改善、業務改善推進、災害対策強化）、⑤コンプライアンスの徹底、⑥食を通じた社会貢献推進、を重点項目とし、取り組んでまいります。

当期純利益

979 百万円 前期比 **△31.3%**

期間	当期純利益 (百万円)
第68期 2022/9期	1,163
第69期 2023/9期	1,234
第70期 2024/9期	1,424
第71期 2025/9期	979
第72期(予想) 2026/9期	1,200

次期の見通しについて 2026年9月期業績予想

売 上 高	615億円	(前期比 5.0%)
営 業 利 益	16億80百万円	(前期比 28.4%)
経 常 利 益	16億30百万円	(前期比 26.6%)
当 期 純 利 益	12億円	(前期比 22.5%)

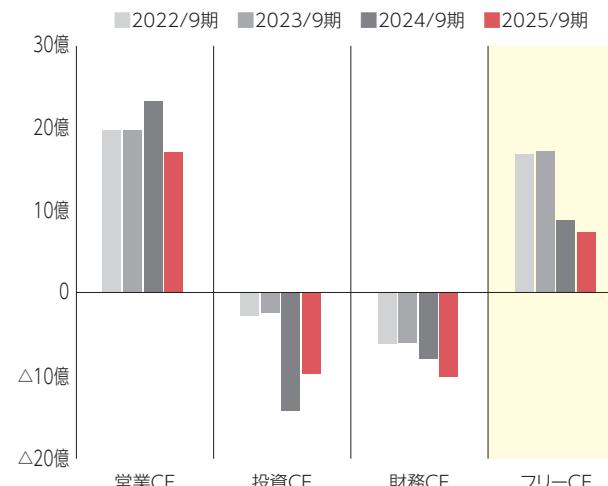
財務諸表（概要）

貸借対照表（概要）

(単位：百万円)

第69期			第70期			第71期			総資産 27,338		
									現金及び預金 7,645	売掛金 1,262	商品及び製品 1,327
									流動負債 6,284	固定負債 3,839	他 751
総資産 23,483			総資産 26,200			負債合計 9,351			負債合計 10,124		
流動資産 10,192	現金及び預金 7,781	流動負債 5,593	負債合計 7,629	流動資産 10,673	現金及び預金 7,939	流動負債 6,156	負債合計 9,351	流動資産 10,987	現金及び預金 7,645	売掛金 1,262	商品及び製品 1,327
	売掛金 721	固定負債 2,035			売掛金 935	固定負債 3,194			流動負債 6,284	固定負債 3,839	他 751
	商品及び製品 1,087				商品及び製品 1,136						
	他 602				他 661						
固定資産 13,291	有形固定資産 11,489	株主資本 15,852	純資産 合計 15,854	固定資産 15,526	有形固定資産 13,193	株主資本 16,847	純資産 合計 16,849	固定資産 16,350	有形固定資産 13,686	株主資本 17,160	純資産 合計 17,214
	無形固定資産 72	評価・換算 差額等 1			無形固定資産 105	評価・換算 差額等 1			無形固定資産 82	評価・換算 差額等 53	
	投資 その他の資産 1,729				投資 その他の資産 2,226				投資 その他の資産 2,562		

キャッシュ・フロー（CF）



(単位：百万円)

（資産）

前事業年度末に比べ11億37百万円増加の273億38百万円
流動資産109億87百万円（3億13百万円増）
固定資産163億50百万円（8億24百万円増）

（負債）

前事業年度末に比べ7億72百万円増加の101億24百万円
流動負債62億84百万円（1億28百万円増）
固定負債38億39百万円（6億44百万円増）

（純資産）

前事業年度末に比べ3億65百万円増加の172億14百万円
当期純利益9億79百万円の計上、剩余金の配当5億42
百万円の結果、利益剰余金が4億37百万円増加したこと、
および自己株式の取得1億24百万円によるものであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

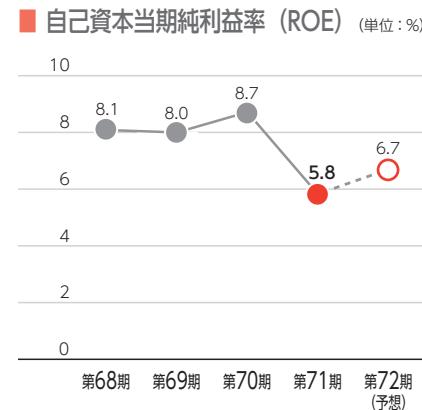
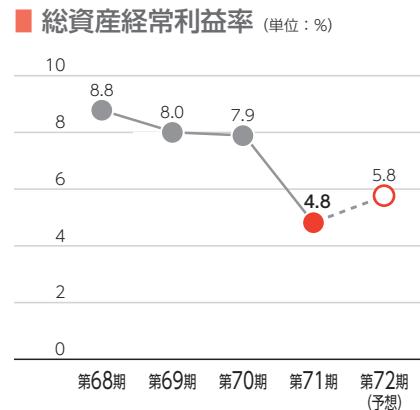
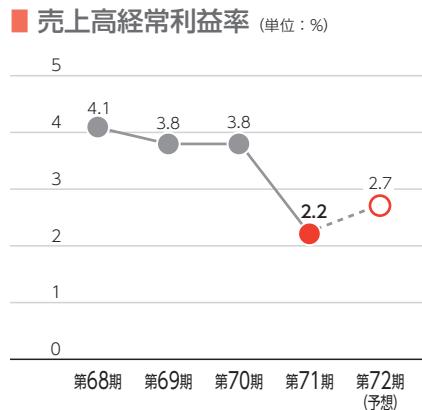
営業活動の結果得られた資金は17億3百万円
(対前期比26.2%減)

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、9億76百万円
(前年同期は14億37百万円使用)

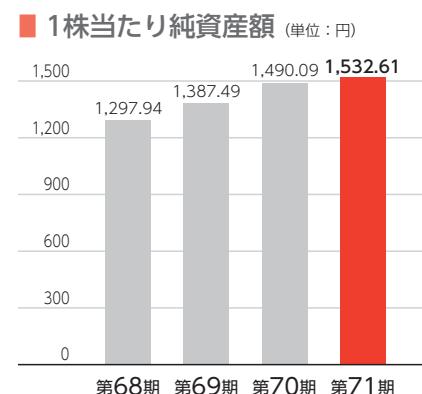
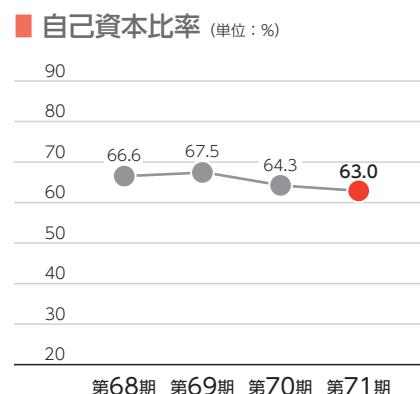
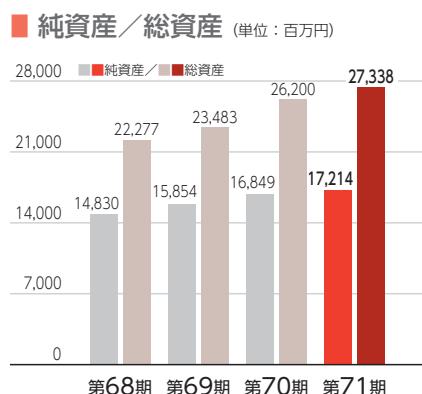
（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、10億20百万円
(前年同期は8億10百万円使用)

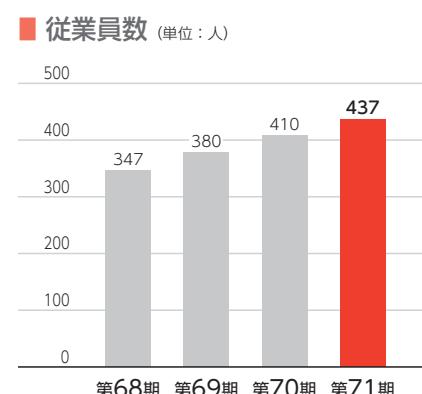
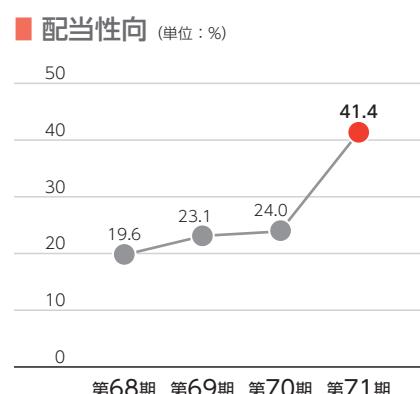
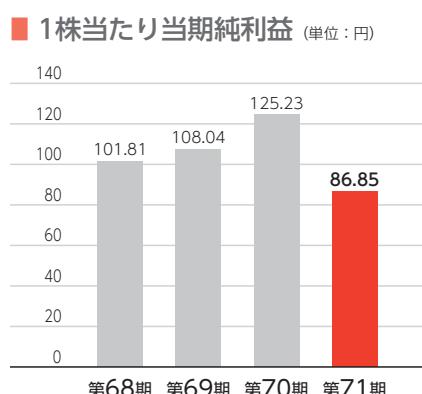


	第68期 2022年9月期	第69期 2023年9月期	第70期 2024年9月期	第71期 2025年9月期	第72期想 2026年9月期
売上高経常利益率 (%)	4.1	3.8	3.8	2.2	2.7 (※)
総資産経常利益率 (%)	8.8	8.0	7.9	4.8	5.8 (※)
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	8.1	8.0	8.7	5.8	6.7 (※)

(※) 業績予想や配当予想から簡易的に計算



	第68期 2022年9月期	第69期 2023年9月期	第70期 2024年9月期	第71期 2025年9月期
純資産 (百万円)	14,830	15,854	16,849	17,214
総資産 (百万円)	21,000	22,277	23,483	26,200
自己資本比率 (%)	66.6	67.5	64.3	63.0
1株当たり純資産額 (円)	1,297.94	1,387.49	1,490.09	1,532.61



	第68期 2022年9月期	第69期 2023年9月期	第70期 2024年9月期	第71期 2025年9月期
1株当たり当期純利益 (円)	101.81	108.04	125.23	86.85
配当性向 (%)	19.6	23.1	24.0	41.4
従業員数 (人)	347 (1,123)	380 (1,126)	410 (1,206)	437 (1,390)

* () 内はパートナー社員の、月平均人数（8時間換算）です。

中期経営計画の戦略



株式会社

ダイイチ 中期経営計画

中期経営計画の基本方針

社 是	“お客様の普段の食生活のお役に立つ”
社 訓	<ul style="list-style-type: none"> ・清潔な店にフレッシュな商品 ・お客様の身になって仕入れと販売 ・プロ根性でたゆまぬ創意研究 ・公明誠実に責任完遂 ・勤勉な努力で生活向上



中期経営 計画の 基本方針	<p>“普段の食生活を通じて、地域を笑顔に”</p> <p>[基本方針のコンセプト]</p> <p>“普段の [=その場限りではなく、地域やお客様の日常に根差した、あてになる（信用、信頼される）企業として] 食生活 [=本業] を通じて、地域 [=地域社会、お客様、株主、従業員などの全てのステークホルダー] を笑顔に [=豊か、幸せ、発展を追求]”</p>
---------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

中期経営 計画の 位置付け	<p>現状認識を踏まえた課題</p> <p>中長期的視点での、しっかりとした体制・基盤整備</p>
	<p>4年後の飛躍に向けた 体制・基盤整備の3年間</p>

1. KPIの進捗状況と一部上方修正について

KPI	売上高	来店客数	当期純利益	投資+財務キャッシュ・フロー対営業キャッシュ・フロー比率	CO ₂ 排出量削減
2024年9月期実績(進捗状況評価)	518億円(○)	2,005万人(○)	1,424百万円(○)	97.4%(○)	0.228 t-CO ₂ /m ² (△)
2025年9月期実績(進捗状況評価)	585億円(○)	2,276万人(○)	979百万円(▲)	117.3%(○)	0.224 t-CO ₂ /m ² (▲)

2026年9月期目標 (2024年9月期見直し後)	600億円	2,200万人	1,300百万円	計画期間中60%超	売場面積当たり排出量0.201 t-CO ₂ /m ²
------------------------------	-------	---------	----------	-----------	---------------------------------------------------

2026年9月期目標 (再見直し後)	615億円	2,300万人	1,200百万円	計画期間中60%超	0.220 t-CO ₂ /m ²
	当初計画を上回る新規出店により更に上方修正	当初計画を上回る新規出店により更に上方修正	物価高騰による諸経費増加および個人的資本経営関連経費増等を見込み下方修正	新規出店等が一段落したことから、目標据え置き	‘20年3月比35%削減→30%削減居抜店(低効率店舗)の影響等を考慮し、下方修正

2023年11月10日に公表しました中期経営計画について、KPIの進捗状況やそれを踏まえてのKPIの見直し内容、分野毎の課題等への取り組み状況を更新いたしました。

2. 戦略別の主な取り組み状況

戦略分野	課題	第71期の主な取り組み状況
“お客様” を笑顔に	商品力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 地域企業等とのコラボ商品の開発・・・第71期までに23商品を開発（トピックスとして、第71期は地元帯広農業高校とコラボした商品を開発・販売） セブンプレミアム商品の取扱い拡充・・・第71期までに約150アイテムを拡充。セブンプレミアム商品の販売額も着実に増え、第71期の販売額は前期比120%
	お客様利便性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 中期経営計画の目標（3力店）を上回る4力店の出店を2年目で実現 すすきの店オープン 2023年11月 稻田店オープン（イトーヨーカドー帯広店継承）.. 2024年9月 千歳店オープン 2024年11月 アリオ札幌店オープン（イトーヨーカドーアリオ札幌店継承）..... 2025年3月 社会福祉事業的な一面も有する移動スーパー「とくしま」は、2025年9月末で20台体制に拡大
	ブランドイメージの向上	<ul style="list-style-type: none"> すすきの店のオープンを機に、メディアへの発信強化を開始 アリオ札幌店のオープンを機に、更に発信を強化→当社知名度は確実に向上
“従業員”、“地域” を笑顔に	労働環境改善、人財の強化・育成	<ul style="list-style-type: none"> 研修強化・・・第70期から役職別、部門別研修を強化（第70期は20回、第71期は23回実施） 女性管理職の増強・・・第71期までに2人の女性管理職を新たに登用したほか、女性活躍推進法に基づく開示関連計数（8項目）は、第71期は7項目で前期よりも改善（新店オープン負担等により、労働者の1月当たりの平均残業時間のみわずかに悪化） 大幅ベースアップを継続（第71期は第70期に続き、正社員に対し平均6%強のベースアップを実施） 依存率が増している継続雇用者（嘱託社員）の待遇を改善
	ESGへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ノーマライゼーションイベント・・・セブン&アイ・ホールディングス等と共に 食育・・・地元小学校向けに食育イベント（ファイブ・ア・デイ）を継続的に開催 ノウフクイベント・・・農福連携（農業+福祉）イベントを継続的に開催 環境保護・・・節水設備の導入、冷ケース入替やLED化等に加え、第71期は店舗廃棄物のリサイクル（肥料化）開始、「J-クレジット預金」（株式会社商工組合中央金庫の商品）を通じた森林保全への貢献、北海道電力株式会社等と太陽光発電によるオフサイトPPA契約を締結し、再生可能エネルギー事業に参画、などに取り組みました。 地域貢献・・・各自治体と「災害時等における物資供給に関する協定」締結を進めており、第71期は、千歳市、音更町、幕別町と新たに協定を締結
“株主” を笑顔に	収益性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 第70期は、在庫含め原価管理を徹底し、売上総利益率を改善（第69期25.2%→第70期25.6%） 第71期は、資産除去債務見直しの影響や新店オープンによる出店関連経費増などに加え、留まらない物価高の影響等による売上総利益率の低下もあり減益となる 第72期は、出店関連経費の減少に加え、ロス管理の徹底や業務プロセスの見直し等により、増益を見込む 効率化の目的も兼ねたセントラルキッチンやプロセスセンター、DXに関しては、導入に向けて幅広く情報を収集中
	株主還元強化	<ul style="list-style-type: none"> 増配の実施（下記の通り、増配を継続） <ul style="list-style-type: none"> →第70期の配当は、5円の増配を実施し、年間で1株当たり30円に →第71期の配当は、6円の増配を実施し、年間で1株当たり36円を予定 →第72期の配当は、4円の増配を実施し、年間で1株当たり40円を予定 中間配当の実施→第71期から中間配当を実施 株主優待の改善→第71期から優待内容を改善（金額規模で2倍程度に拡大） 自己株式の取得→第70期は119,100株、第71期は75,400株を取得 資本収益性・資本コストを意識した取り組みとして、第70期は営業キャッシュ・フローのほぼ全額（97%）を、第71期は全額以上（117%）を「営業規模拡大投資」や「株主還元」等に振り向ke

○第71期末において、PBRは1倍を上回る水準に
○第71期末において、個人株主が増加
(株主構成)

	株主数（自己名義株式除く）		
	第70期末	第71期末	増減
金融機関	11	10	▲1
金融商品取引業者	14	13	▲1
その他法人	109	114	5
外国法人等	34	23	▲11
個人・その他	7,555	8,110	555
合 計	7,723	8,270	547

出店戦略



■ 2024年11月8日
千歳店開店（千歳市）



■ 2025年3月21日
アリオ札幌店開店（札幌市）



■ 2025年7月4日 稲田店が入居するフレスボ
スズランプラザ グランドオープン（帯広市）



■ 2025年9月22日 社会貢献事業 移動
スーパー「とくしま」20台目稼働（千歳市）

地域に密着（安全で安心な暮らしに貢献）



■ 各自治体と「災害時等における物資供給に関する協定」締結
を進めました。千歳市、音更町、幕別町、札幌市、旭川市



■ 地域の小学校等の職場体験学習の積極的な受け入れや帯広農業高校の収穫販売会、
「ノウフク」農福連携（農業+福祉）など、地域と連携したイベントを継続開催いたしました。



■ 米価高騰を踏まえ、随意契約による政府備蓄米の取扱いを決定し、販売期限を待たずに完売いたしました。

SDGs（持続可能な未来に向けた）への取り組み



■ 地域社会の課題解決や食品ロスの削減に貢献
「フードドライブ」活動開始



■ 北海道電力(株)様等と太陽光発電によるオフサイトPPA契約
を締結し、再生可能エネルギー事業に参画いたしました。

■ 環境保全対策として、店舗廃棄物のリサイクル（肥料化）への取り組みを開始



■ 「J-クレジット預金」による環境保全への取り組み
預金を通じて森林の適正な管理に貢献
2026年度のCO₂排出量の10t分のオフセットを予定

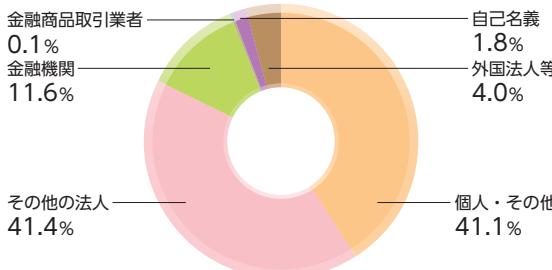
■ 株式の状況 (2025年9月30日現在)

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	11,438,640株
株主数	8,271名
大株主 (上位10名)	

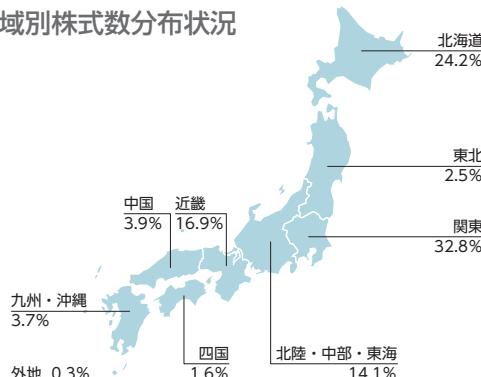
株 主 名	持株数 (株)	持株比率 (%)
株式会社イトーヨーカ堂	3,432,000	30.56
ダイイチ取引先持株会	475,700	4.24
野村信託銀行株式会社 (投信口)	366,500	3.26
若園 清	274,900	2.45
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM 02 505002	271,400	2.42
株式会社北陸銀行	193,040	1.72
株式会社北洋銀行	186,000	1.66
横山 清	164,100	1.46
国分北海道株式会社	164,000	1.46
小西典子	156,220	1.39

(注) 持株比率は自己株式 (206,720株) を控除して計算しております。

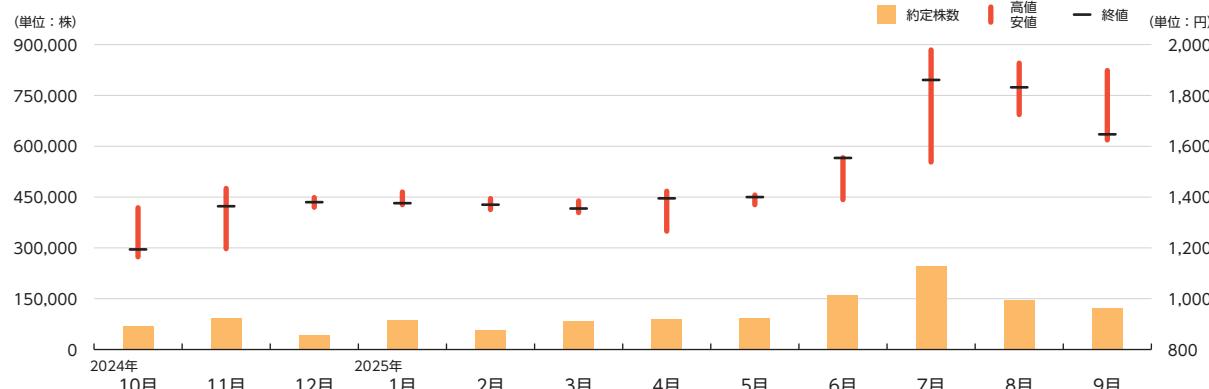
■ 所有者別株式数分布状況



■ 地域別株式数分布状況



■ 株価チャート



株主の皆さまの 声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいたくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにて
ご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー

スマートフォンから
カメラ機能で
QRコードを読み取り

QRコードは株式会社プロネクサスの登録商標です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を
進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 koekiku@pronexus.co.jp

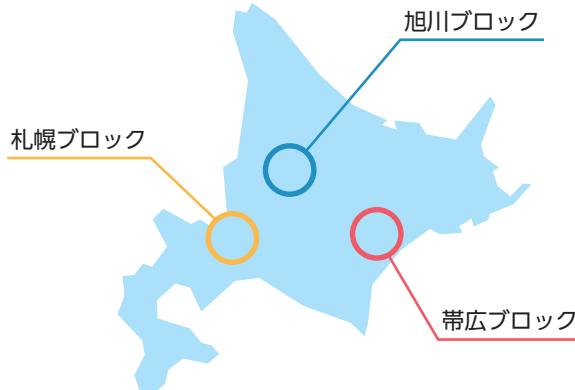
会社概要 (2025年9月30日現在)

商 号 株式会社ダイイチ
 本社所在地 北海道帯広市西20条南1丁目14番地47
 会 社 設 立 1958 (昭和33) 年7月11日
 資 本 金 1,639,253千円
 社 員 数 437人 (正社員)
 1,390人 (パートナー社員等、8時間換算)
 主要な事業内容 当社は、食料品主体のスーパーマーケットを展開しており、これに附帯する業務として不動産賃貸業務等を行っております。

役 員 (2025年12月23日現在)

代表取締役社長 若 園 清
 常務取締役 西 崎 進
 常務取締役 吉 田 直 久
 取締役 忠 石 信 之
 取締役 北 村 攻
 社外取締役 宮 川 明
 社外取締役 井 雲 康 晴
 社外取締役 祖母井 里重子
 社外取締役 林 美香子
 常勤監査役 長 尾 悅 治
 社外監査役 東 城 敬 貴
 社外監査役 笹 井 宏 一

事業所一覧 (2025年12月23日現在)



帯広ブロック

東 店	帯広市東4条南12丁目1
啓 北 店	帯広市西12条北4丁目1
め む ろ 店	河西郡芽室町東6条9丁目1
白 権 店	帯広市白樺16条西2丁目2
み な み 野 店	帯広市南の森東1丁目1
札 内 店	中川郡幕別町内共栄町164-7
自 衛 隊 前 店	帯広市西18条南27丁目1-2
音 更 店	河東郡音更町木野大通東12丁目3-1
オ ー ケ ー 店	河東郡音更町木野大通西17丁目1-4
稻 田 店	帯広市稻田町南8線西10-1
[センター]	
惣菜センター	帯広市西20条南1丁目14-46
帯広配送センター	帯広市西20条南1丁目14-47

本社 (営業本部 管理本部)

北海道帯広市西20条南1丁目14-47

旭川本部

北海道旭川市末広1条7丁目265 2F

札幌本部

北海道札幌市西区発寒16条14丁目2-5

旭川ブロック

西 店	旭川市2条通4丁目134
東 光 店	旭川市東光12条6丁目203
末 広 店	旭川市末広1条7丁目265
東 旭 川 店	旭川市東旭川北1条1丁目3-37
旭 町 店	旭川市旭町1条7丁目2631
二 条 通 店	旭川市2条通23丁目110-1
花 咲 店	旭川市春光1条8丁目1-77
[センター]	
旭川配送センター	旭川市流通団地2条3丁目15

札幌ブロック

八 軒 店	札幌市西区八軒10条東5丁目2
白 石 神 社 前 店	札幌市白石区本通13丁目北3-39
発 寒 中 央 駅 前 店	札幌市西区発寒10条3丁目1-11
清 田 店	札幌市清田区清田2条3丁目181-1
恵 み 野 店	恵庭市恵み野里美2丁目15
平 岸 店	札幌市豊平区平岸1条12丁目1-35
す す き の 店	札幌市中央区南4条西4丁目1-1
COONO SUSUKINO B2F	
千 歳 店	千歳市北信濃867-1
アリオ札幌店	札幌市東区北7条東9丁目2-20
	アリオ札幌1F

株主優待のお知らせ

株主の皆様からの日頃のご支援に対する感謝と、より多くの株主様に当社株式を継続保有していただきたいとの考え方から、株主優待制度を実施しております。

2025年9月期の株主優待は下記のとおりです。

株主優待を充実させていただきました。

保有株式数	継続保有期間	優待内容
100株以上	2年未満	2,000円分のVJAギフトカード
500株未満	2年以上	3,000円分のVJAギフトカード
500株以上 1,000株未満	2年未満	4,000円分のVJAギフトカード
1,000株未満	2年以上	6,000円分のVJAギフトカード
1,000株以上 ※	2年未満	8,000円分のVJAギフトカードもしくは、8,000円分の当社商品券もしくは、北海道産品と六花亭お菓子の組み合わせをお選びいただけます。
1,000株以上 ※	2年以上 ※	10,000円分のVJAギフトカードもしくは、10,000円分の当社商品券もしくは、北海道産品と六花亭お菓子詰め合わせの組み合わせをお選びいただけます。

■保有株式数および継続保有期間につきましては、毎年期末（9月末）時点の保有株式数を確認すると共に、同一株主番号であることを確認させていただきます。

※「保有株式数1,000株以上かつ継続保有期間2年以上」とは、毎年期末（9月末）時点で株主名簿に同一株主番号で連続3回以上登録されていること、保有株式数が全て1,000株以上であることをいいます。

■1,000株未満保有の株主の皆様へは年次報告書（本誌）に優待品を同封しております。

希望申込受付期間 2026年1月31日到着分まで

お申込みがない場合 株主優待AのVJAギフトカードを贈呈いたします。

個人情報について いただいた個人情報は、この優待商品のお届けのみに利用させていただきます。

注 意 事 項 ご希望の時間にお届けできない場合がありますので、ご了承ください。

※1 C～G 詰め合わせ内容が変更になる場合があります。

※2 G 農産物セットの内容（メークインL、男爵L、玉ねぎL～L大、かぼちゃ1玉）

■1,000株以上保有の株主の皆様は選択制となりますので、2026年1月31日までに同封されたお申込み書のはがきをご返送ください（保有期間に応じたはがきが入っております。）。

お申込み書のはがきに必要事項をご記入いただき、プライバシー保護シールを貼ってポストへ投函ください。

A～Gの中から一つお選びください。

継続保有期間2年未満		継続保有期間2年以上	
A ※1	VJAギフトカード 8,000円分  2月下旬	VJAギフトカード 10,000円分  2月下旬	
B ※1	当社商品券 8,000円分  2月下旬	当社商品券 10,000円分  2月下旬	
C ※1	グリーンアスパラ 2L 1.5kg  収穫時季の5月下旬～6月初旬	C～Gをお選びいただいた場合は六花亭お菓子3,000円相当を加えた優待品といたします。 	
D ※1	十勝川西長いも 5kg  収穫時季の6月下旬～7月初旬	十勝川西長いも 5kg  収穫時季の6月下旬～7月初旬	
E ※1	でんすけ すいか 1玉  収穫時季の7月下旬	でんすけ すいか 1玉  収穫時季の7月下旬	
F ※1	メロン (夫婦メロン) 2玉  収穫時季の7月下旬	メロン (夫婦メロン) 2玉  収穫時季の7月下旬	
G ※1 ※2	北海道旬の味覚 (農産物セット) 1セット  収穫時季の10月下旬	北海道旬の味覚 (農産物セット) 1セット  収穫時季の10月下旬	

株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
期末配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年12月
単元株式数	100株
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

【株式に関するお手続きについて】

株式に関するお手続き（住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求等）につきましては、原則として、
口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。

特別口座（※）に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ
信託銀行で承りますので、上記連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお
取次ぎいたします。

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場 証券会員制法人札幌証券取引所
---------	-----------------------------------

証券コード	7643
-------	------

公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.daiichi-d.co.jp/IR/ir/account.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた時には、 日本経済新聞に公告いたします。)
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※ 特別口座とは、株券電子化施行までに証券保管振替機構に株券を預託されなかった株主等の権利を保全するために開設した口座のことです。法令に従い、名義人名で三菱UFJ信託銀行に開設した特別口座に記載されています。配当金は受け取れますか、株式の売買はできません。証券口座への振替が必要となりますので、上記連絡先にお問い合わせください。

【少額投資非課税口座（NISA口座）における配当等のお受け取りについて】

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関（証券会社等）を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。
ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。



TEL 0155-38-3456 (代表)

FAX 0155-38-3434

<https://www.daiichi-d.co.jp/>

本誌に関するお問い合わせは、企画IR部までお願いいたします。

期末配当金のお支払いについて

第71期の期末配当金は、2025年12月23日開催の定時株主総会にて承認されましたので、1株につき18円を次の方法によりお支払いいたします。

1. 銀行口座への振込をご指定の株主様

同封の「第71期期末配当金計算書」とおり「配当金振込先ご確認」のご案内に記載の口座へお振込いたしましたので、ご確認ください。

2. 振込をご指定されていない株主様

第71期期末配当金の「期末配当金計算書」とともに「期末配当金領収証」を同封しております。銀行払い渡し期間（2025年12月24日～2026年1月23日）に、最寄りのゆうちょ銀行の本支店および出張所並びに郵便局でお受け取りください。

3. 証券口座でお受け取り（株式数比例配分方式）の株主様

お取引のある証券会社へご確認願います。

